

# 研究所たより 研究所たより

事務局スタッフの退職で、昨年に引き続き今年も年度末の会計整理・決算を一人で行うこととなりました。『協同の発見』の編集やさまざまな事務を行いながら、新年度会費のチェックや名簿の整理、入退会会員の管理などを行うのは、やはりなかなか骨が折れます。

先月も報告させていただいた菊地が個人的に参加している「テロリストは誰？ / 九条の会」の活動で、5月3日の憲法記念日に、『軍靴の足音#』という企画を行いました。若い世代にとって、戦争といえば9.11以降のアフガン・イラク戦争のことであり、「反テロ」を旗印にした国際貢献という名目での自衛隊派兵を積極的に肯定する人たちも増えています。しかし、実際の戦争について私たちが想像をめぐらせるのはたやすい事ではありません。そこで、『軍靴の足音#』企画では、太平洋戦争での軍隊経験を持つ高齢の方々に直接お話を伺おうということになりました。研究所会員で東京高齢協の武市さんのご協力も得て、協同総研初代理事長の黒川俊雄先生(慶応大学名誉教授、神奈川県高齢者生協理事長)他2名の方々にお願いいただき、従軍された経験や軍隊での生活などをお話しいただきました。折からの中国における反日デモの話題から、南京大虐殺、靖国問題、従軍慰安婦問題など、会場との質疑でも率直な意見が交わされました。参加者は延べ30名ほどで、当日用意した「海軍カレー」も好評で、継続的にこのような企画をとの声も聞かれました。

これも個人的な話題で恐縮ですが、娘の保育所(市立)で、30数年続いてきた年長組の「お泊り保育」(クラス全員で保育所に泊まる行事)を突如「取止めにする」という通知が市役所の子育て支援課長名で出されました。理由は、近年の社会情勢と保安問題だそうです。確かに2001年6月の大阪の池田小学校事件以降、学校や保育園での安全管理の問題はさまざまに取り上げられていますし、親の一人として安全対策は必要だと思います。しかし、セキュリティやリスクの問題にだけ焦点を当てていくと、集団保育などほとんど不可能になります。保育所のお母さん方に聞くと、かつてお泊り保育では園庭で子どもたち自身で夕食の調理をしていたということですが、0-157の事件が発生して以降、市役所は子どもたちの調理を一切取止めにして、今日に至っているということで、子どもたちのやれることはますます狭まっているようです。今回の件で、市役所に事情を聞きに行った父母によれば、支援課長には撤回する意思はなく、「もし何か起こったらマスコミに出て謝らなければならないのは私だ」と言い放ったそうです。2003年11月に行った研究会「公共サービスと協同労働」で、東京の保育運動の草分けである桐島マサ江先生は、父母たちがつくった「共同保育所」の歴史と、それが公立化した後に保育から父母と保育士との協同性が失われていった過程を話してくださいました(『協同の発見』No.137)。私の住む市の保育所の歴史はよくわかりません

が、保育は単なる託児サービスであり、「子どもの学びや成長」より「問題が起こらないこと」を重視する姿勢は強まっています。確かに世の中では子どもを狙った凶悪な犯罪が起こっていることも事実ですが、自分たちの地域でそれを防ぎ、子どもたちをのびのびと育てるために何ができるか、という

発想こそまず最初にくるべきであると思います。公務労働がそれを担えないのだとしたら、民営化というのは必然的な帰結かもしれない。父母の会役員としても、「公共性」とは何か足元から考えていきたいと思っています。

菊地 謙

## Information

### 日本労働者協同組合連合会第26回定期総会 センター事業団第20回通常総代会 開催のお知らせ

日本労働者協同組合連合会ならびにセンター事業団は、下記の日程で広島市で総会および総代会を開催します。

協同総研の会員の皆様も、ぜひご参加ください。

#### ●日時

日本労働者協同組合連合会	2005年	6月3日(金)	午前10時から
		6月4日(土)	正午まで
センター事業団		6月4日(土)	午後1時から
		6月5日(日)	午後3時まで

#### ●会場(いずれも)

広島国際会議場(広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)

#### ●お問い合わせ

TEL 03-5978-2190 (日本労働者協同組合連合会)